



2026年3月期第3四半期 決算説明会資料

2026年2月10日
株式会社ウィルグループ
東証プライム市場 証券コード：6089
<https://willgroup.co.jp/>



目次

- 1. 2026年3月期 第3四半期 実績 P. 3**
- 2. 2026年3月期 第3四半期 トピックス P. 20**
- 3. 2026年3月期 通期業績予想、配当予想 P. 24**

本資料においては一部、「国内Working事業」を「国内W」、「海外Working事業」を「海外W」という略称で表記しています。

2026年3月期 第3四半期 実績

1



2026年3月期 第3四半期(累計) 業績ハイライト(連結)

連結業績

- 売上収益は、海外Working事業におけるマイナスの為替影響(10.1億円)があったものの、建設技術者領域を中心とした国内Working事業が順調に拡大したこと等により、増収。
- 営業利益は、建設技術者領域を中心とした国内Working事業における粗利の拡大に加え、海外Working事業における販管費の抑制と人材紹介売上増加による粗利の拡大を背景に、大幅増益。

売上収益

1,086.2億円

(前年同期比 **+3.1%**)

※為替影響を除くと+4.1%

営業利益

28.5 億円

(ノーマライズド営業利益^{*1} 28.2 億円)

(前年同期比 **+59.2%**)

EBITDA ^{*2}

43.8 億円

(前年同期比 **+32.0%**)

*1 ノーマライズド営業利益： 前年同期に含まれる一過性の損益(「海外Working事業」の減損損失及び政府補助金収入、「その他」の不動産売却益)を除いた営業利益

*2 EBITDA： 営業利益 + 減価償却費及び償却費 + 減損損失

2026年3月期 第3四半期(累計) 業績ハイライト(セグメント業績)

国内Working事業

- 売上収益は、建設技術者領域の拡大に加え、セールスアウトソーシング領域及びファクトリーアウトソーシング領域が堅調に推移したこと、HR CAREER社の新規連結影響等により、4.9%の増収。
- セグメント利益は、建設技術者領域ならびに正社員派遣、外国人雇用支援への注力による粗利の拡大を背景に、44.7%の大幅増益。

売上収益

655.2 億円

(前年同期比 **+4.9%**)

セグメント利益

30.1 億円

(前年同期比 **+44.7%**)

海外Working事業

- 売上収益は、前年同期と比較して為替が円高に推移したことによるマイナスの為替影響（10.1億円）があったものの、シンガポールにおいて人材派遣売上が堅調に推移したこと、人材紹介売上が前年同期を上回ったことにより、0.6%の増収。
- セグメント利益は、販管費の抑制と人材紹介売上増加による粗利の拡大を背景に、16.2%の増益。ノーマライズドセグメント利益^{*1}では、39.2%の大幅増益。

売上収益

430.3 億円

(前年同期比 **+0.6%**)

セグメント利益

17.5 億円

(前年同期比 **+16.2%**)

(ノーマライズドセグメント利益^{*1}では前年同期比 +39.2%)

2026年3月期 第3四半期(累計)連結実績

- 建設技術者領域ならびに正社員派遣、外国人雇用支援への注力が奏功し、売上総利益率・営業利益率ともに向上。

【連結業績】 (単位: 億円)	前年同期	当期実績	前年同期比(額)	前年同期比(率)
売上収益	1,053.5	1,086.2	+32.7	+3.1 %
売上総利益 (売上総利益率)	220.9 (21.0 %)	239.5 (22.1 %)	+18.6 (+1.1 pt)	+8.4 %
営業利益 (営業利益率)	17.9 (1.7 %)	28.5 (2.6 %)	+10.6 (+0.9 pt)	+59.2 %
親会社の所有者に帰属する当期利益	11.1	19.7	+8.6	+77.2 %
【KPI】	25.3期 実績	当期実績	26.3期 計画	計画比
年間採用人数 (建設技術者領域)	1,704 名	1,382 名	1,500 名	92.1 %
定着率 (建設技術者領域)	68.4 %	71.9 %	71.5 %	+0.4 pt
正社員派遣稼働人数 (国内W (建設技術者領域以外))	3,450 名 (前期末比增加人数 +475 名)	3,925 名	3,500 名	112.1 %
外国人雇用支援人数 (国内W)	3,142 名 (前期末比增加人数 +1,189 名)	4,331 名	3,500 名	123.7 %

従業員数 : 8,923 名 (前年度末比 : +994 名)

売上収益の前年同期増減内訳

(億円)

1,053.5 **+24.5** **+6.3^(*1)** **+12.7^(*2)** **-10.1** **-0.5** **1,086.2**



営業利益の前年同期増減内訳

(億円)

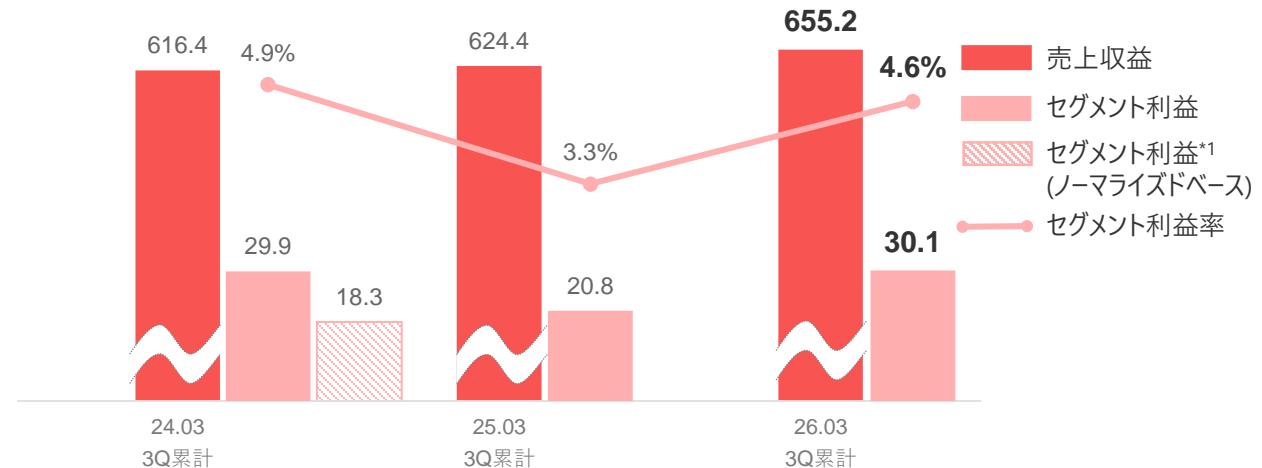


2026年3月期 第3四半期(累計) 国内Working事業

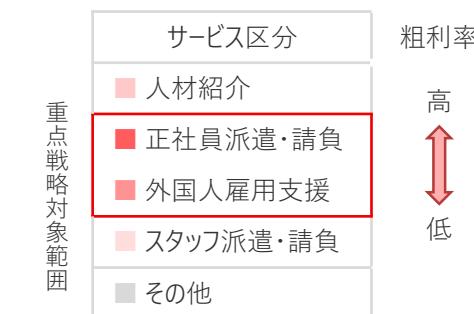
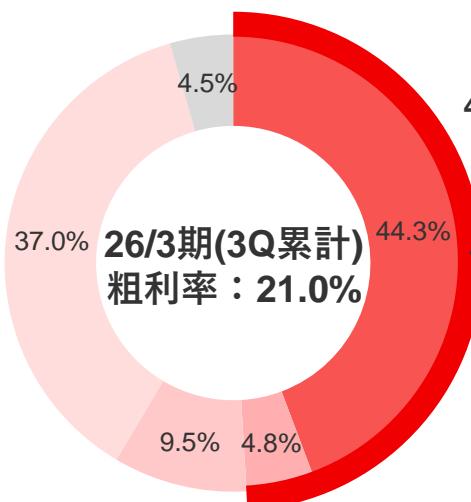
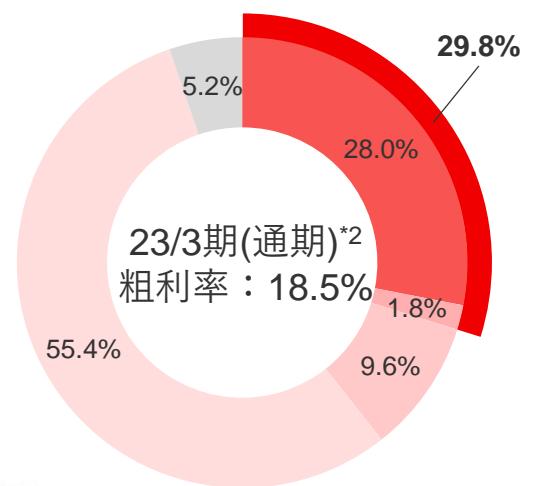
- 建設技術者領域の拡大に加え、セールスアウトソーシング領域及びファクトリーアウトソーシング領域が堅調に推移したことにより、増収増益。
- 中期経営計画の戦略推進により、重点戦略対象範囲(正社員派遣・請負、外国人雇用支援)の売上総利益の構成比は、49.1%と順調に拡大。粗利率も、23.3月期と比較して2.5pt向上。

- 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	実績	前期	前期比
売上収益	655.2	624.4	+4.9%
セグメント利益	30.1	20.8	+44.7%



- 売上総利益のサービス別構成比の変化 -

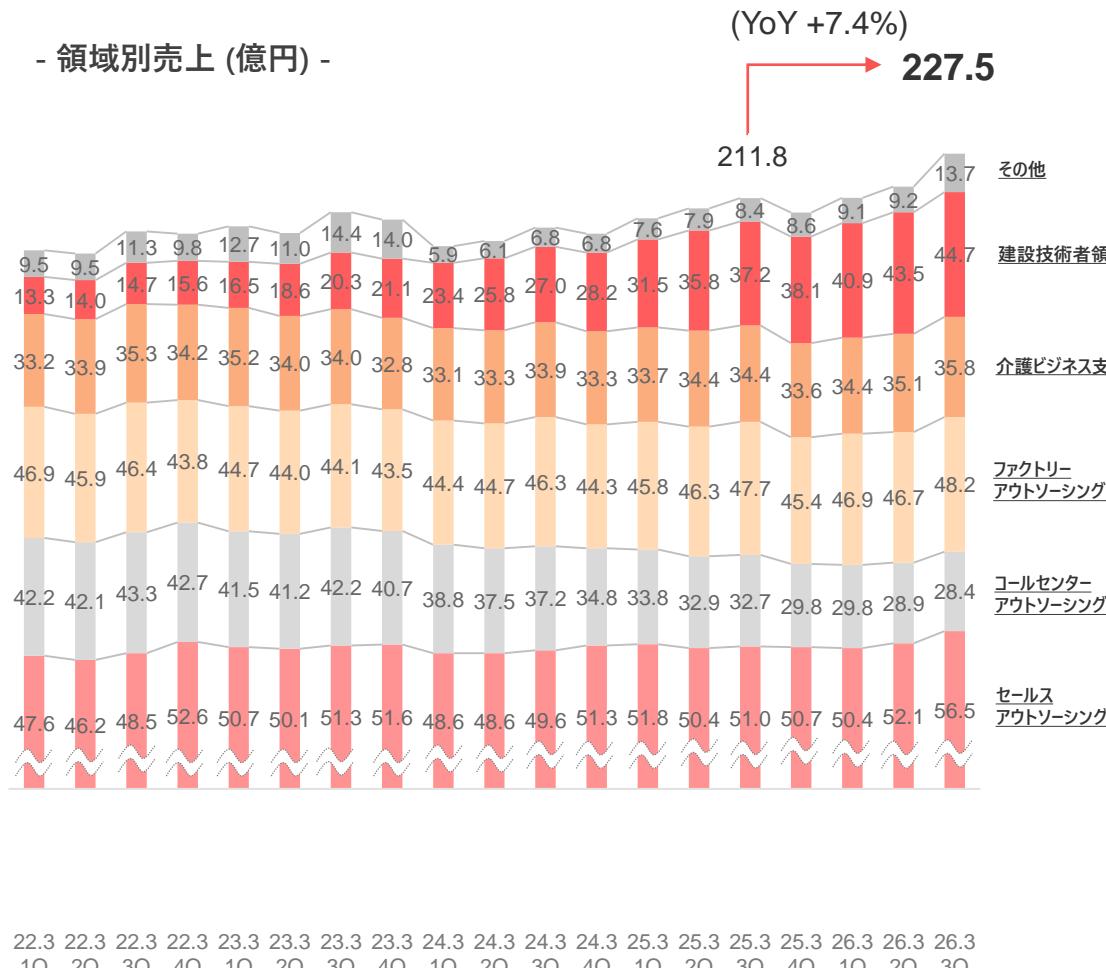


*1 一過性の子会社株式売却益・連結除外の影響を除いた営業利益
 *2 23/3期(通期)は、前期までに連結除外となつた子会社の数字を除外して計算。

国内Working事業 (領域別売上、営業利益)

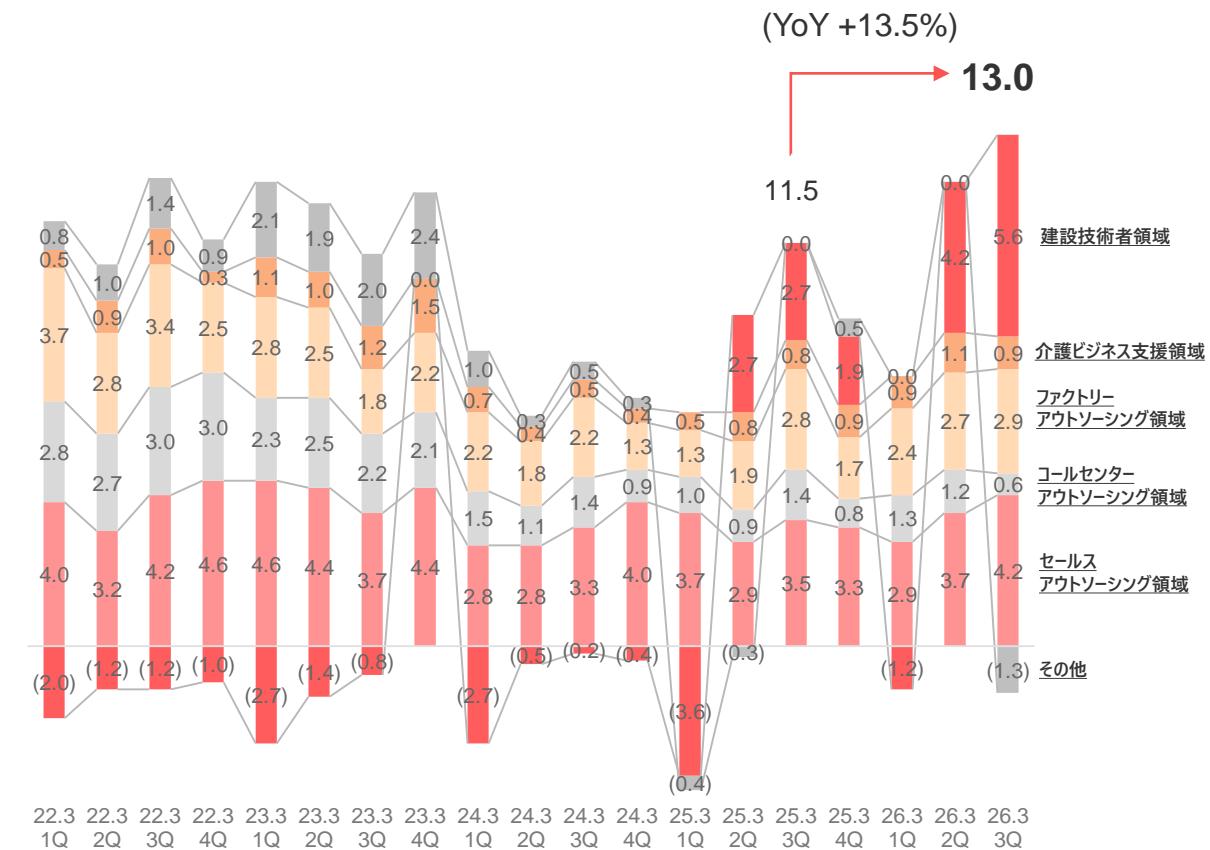
- ・ 領域別売上は、ほぼ全ての領域において、四半期ベースで過去最高売上を達成。
- ・ 建設技術者領域は、利益成長フェーズに入り、25.3期3Q比 +104.2%の大幅増益。

- 領域別売上 (億円) -



(YoY +7.4%)
227.5

- 領域別営業利益 (億円) -



※セグメント内の連結調整は含んでいません。

中期経営計画(WILL-being 2026) KPI進捗

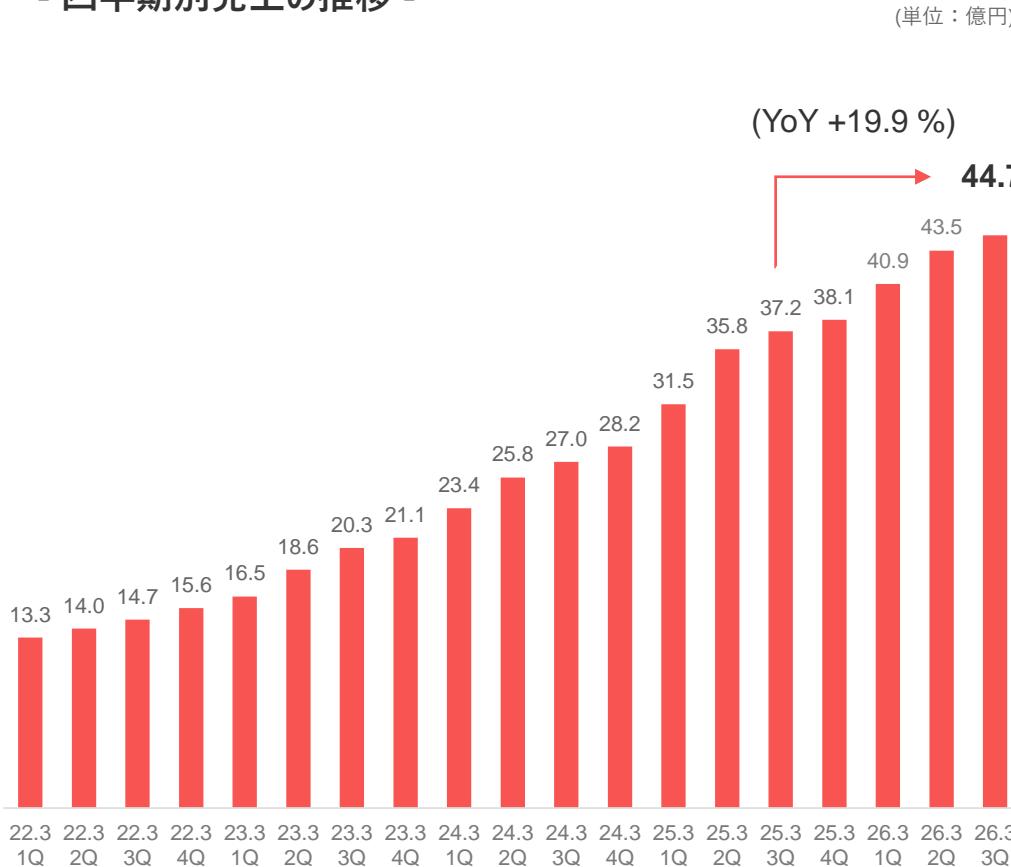
- 全てのKPIで、計画を上回って順調に進捗。
- 正社員派遣人数、外国人雇用支援人数が順調に増加したこと、粗利の増加、粗利率の向上に寄与。

重点戦略		KPI	当期計画	当期実績	計画比	評価
戦略 I 建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現	国内W	年間採用人数	1,500 名	1,382 名	92.1 %	○
		定着率	71.5 %	71.9 %	+0.4 pt	○
戦略 II 国内W(建設技術者領域以外)の再成長	国内W	正社員派遣稼働人数 (前期末比増加人数)	3,500 名 +475 名	3,925 名	112.1 %	○
		外国人雇用支援人数 (前期末比増加人数)	3,500 名 +1,189 名	4,331 名	123.7 %	○

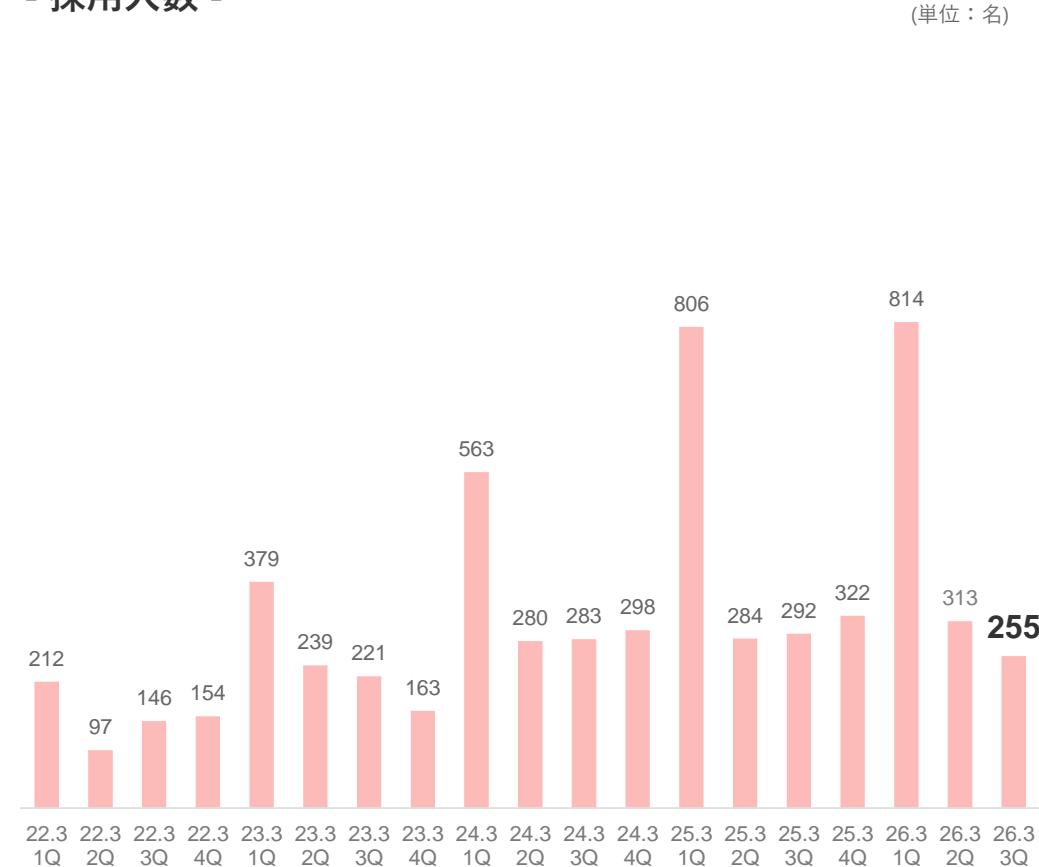
戦略Ⅰ(国内W) 建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現 (建設技術者領域の進捗①)

- 売上は、25.3期3Q比で19.9%の増収。稼働人数の積み上げと契約単価の上昇により、毎四半期連続増収を更新中。
- 採用人数は、オーダー獲得数とのバランスを考慮し、若干抑制をしたものの、当期目標1,500名に対し3Q累計で1,382名と、通期計画は達成の見込み。(1Qは、新卒採用 418名(前期 453名)を含む。)

- 四半期別売上の推移 -



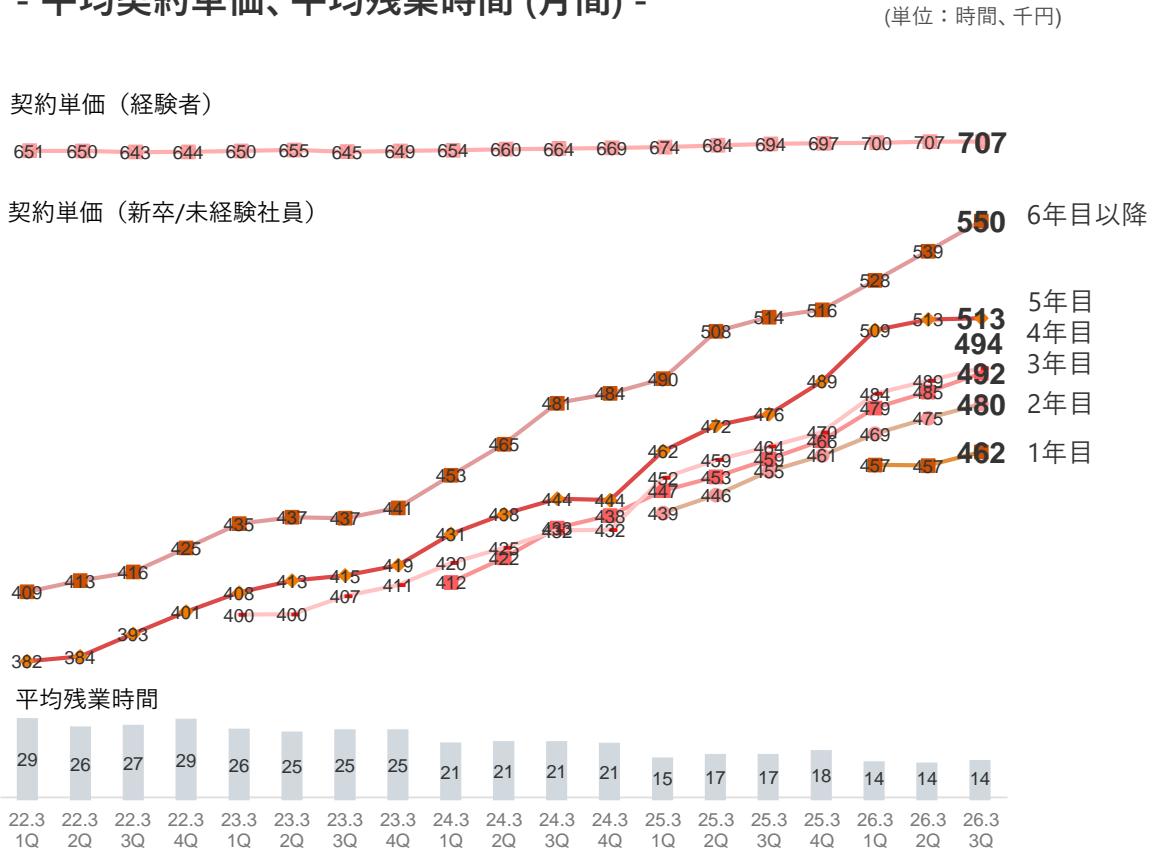
- 採用人数 -



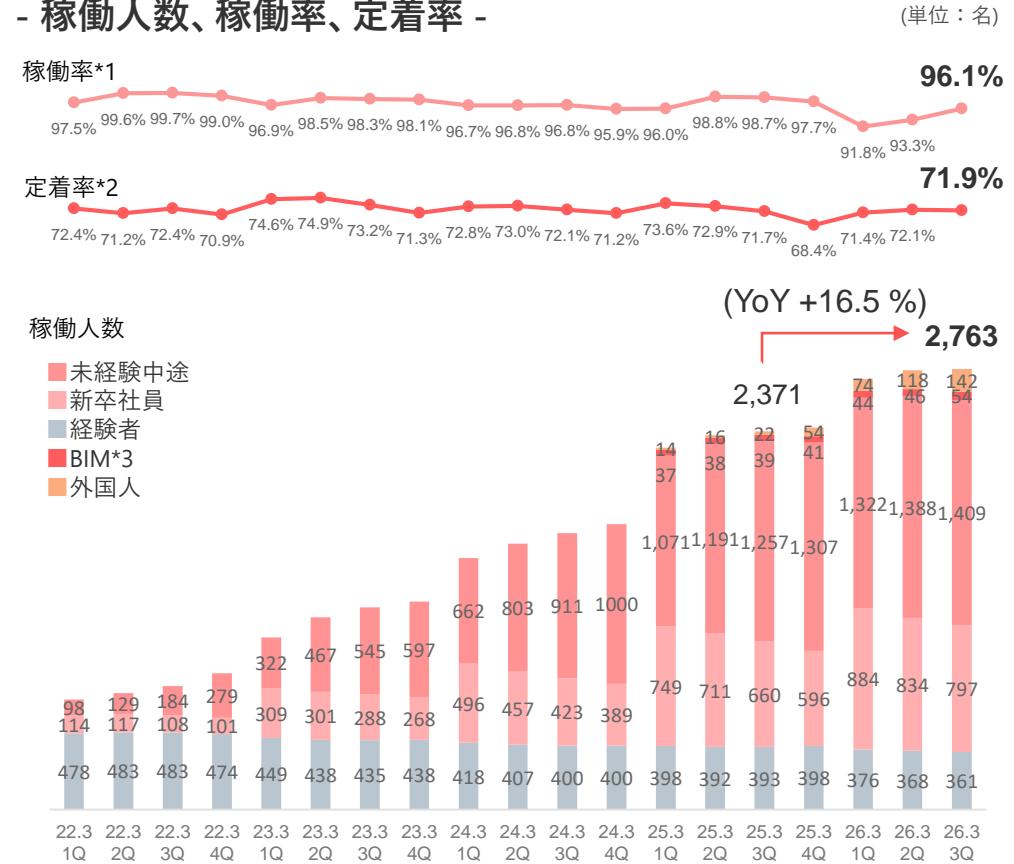
戦略Ⅰ(国内W) 建設技術者領域の更なる成長、収益化を実現(建設技術者領域の進捗②)

- 新卒・未経験の平均契約単価は、顧客への単価交渉継続により、前年同期比で約5%の上昇を維持。
- 人事制度の見直しや処遇改善等が奏功し、定着率は25.3期Q3と比較して0.2pt向上。今後更なる稼働人数の増加を目指し、オーダー獲得のための営業体制の強化を行う。

- 平均契約単価、平均残業時間(月間) -



- 稼働人数、稼働率、定着率 -



*1 : 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です

*2 : 定着率=集計時点在籍人数÷(1年前在籍人数+1年間入社人数)÷100

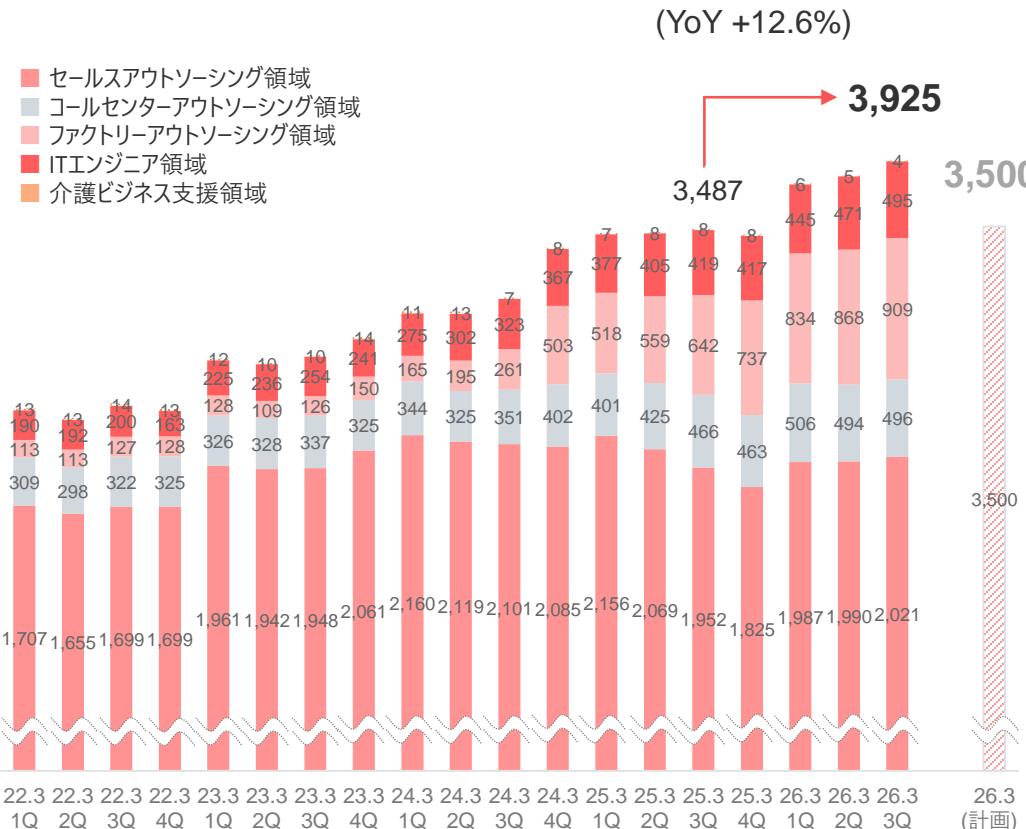
*3 : BIM : コンピューター上の3次元の形状情報に、建物の属性情報などを内蔵した建物情報モデルを構築するシステム
(Building Information Modeling) のエンジニア

戦略 II 国内W(建設技術者領域以外)の再成長 (正社員派遣の進捗)

- 正社員派遣稼働人数は、ファクトリー・アウトソーシング領域、ITエンジニア領域が引き続き堅調に推移し、通期計画は達成の見込み。
- 正社員派遣採用人数は、セールス・アウトソーシング領域を中心に各領域で着実に積み上がり、25.3期3Q比 +約120名。(26.3期1Qは新卒採用318名(セールス:249名、コールセンター:28名、ファクトリー:25名、IT:16名))

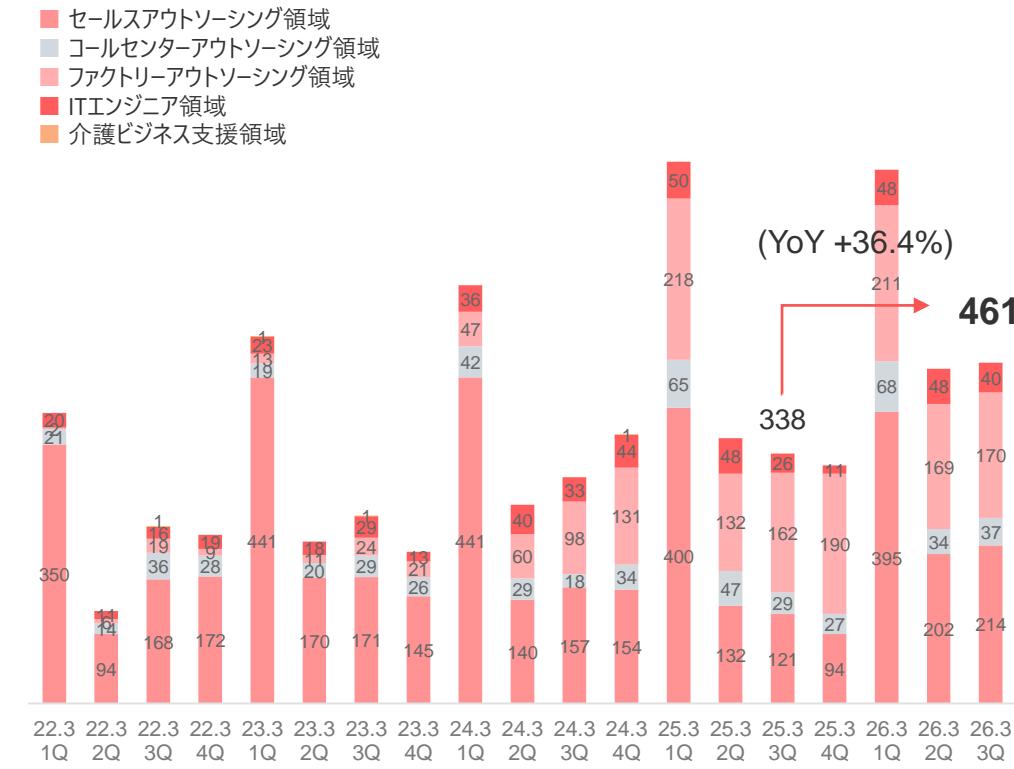
- 正社員派遣稼働人数 -

(単位:名)



- 正社員派遣採用人数 -

(単位:名)



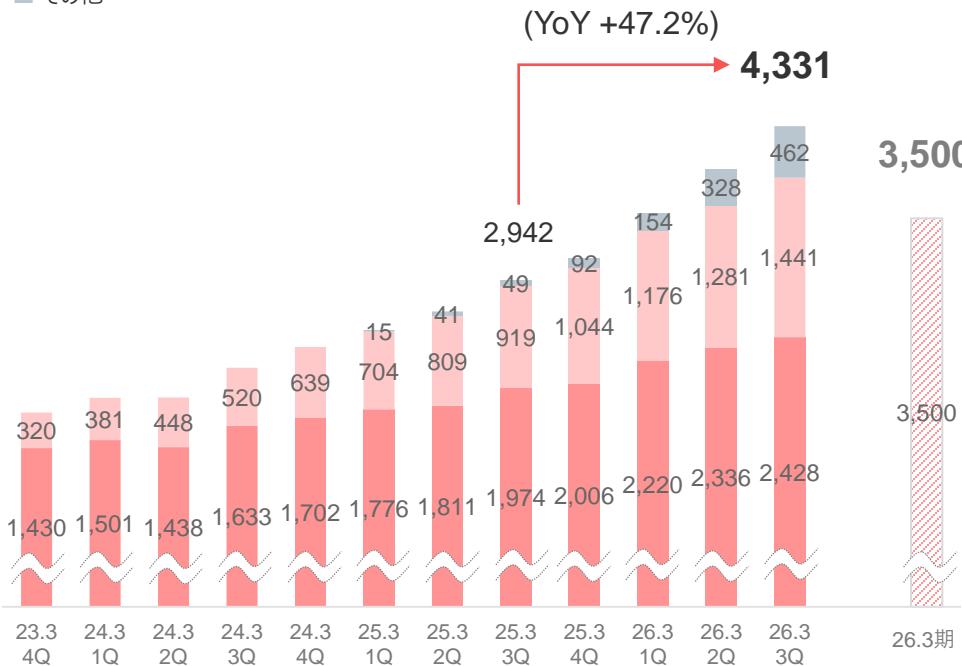
戦略 II 国内W(建設技術者領域以外)の再成長 (外国人雇用支援の進捗)

- 外国人雇用支援人数は、過去最高を更新し、通期計画を大幅に上回る水準で推移。特にファクトリーアウトソーシング領域では、大型の支援切替案件獲得により大きく伸長。
- 引き続き、ファクトリーアウトソーシング領域においては工業製品製造系顧客の開拓や食品製造系顧客の横展開、介護ビジネス支援領域・その他においては新規顧客開拓に注力し、取引社数・オーダー数増加に取り組むとともに、更なる規模拡大に向け、定着率改善等のアクションプランの整理を進めていく。

- 外国人雇用支援人数 -

(単位：名)

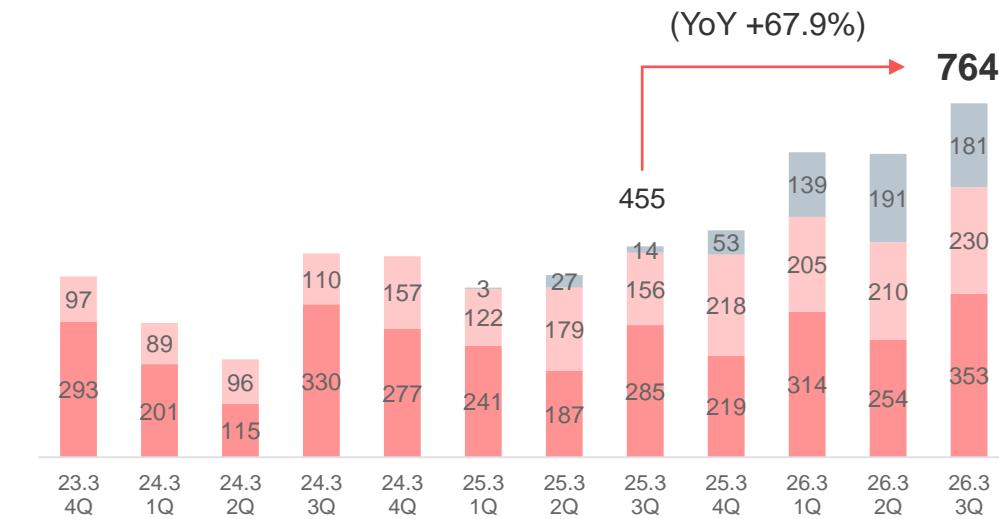
■ ファクトリーアウトソーシング領域
■ 介護ビジネス支援領域
■ その他



- 外国人雇用支援入社人数 -

(単位：名)

■ ファクトリーアウトソーシング領域
■ 介護ビジネス支援領域
■ その他

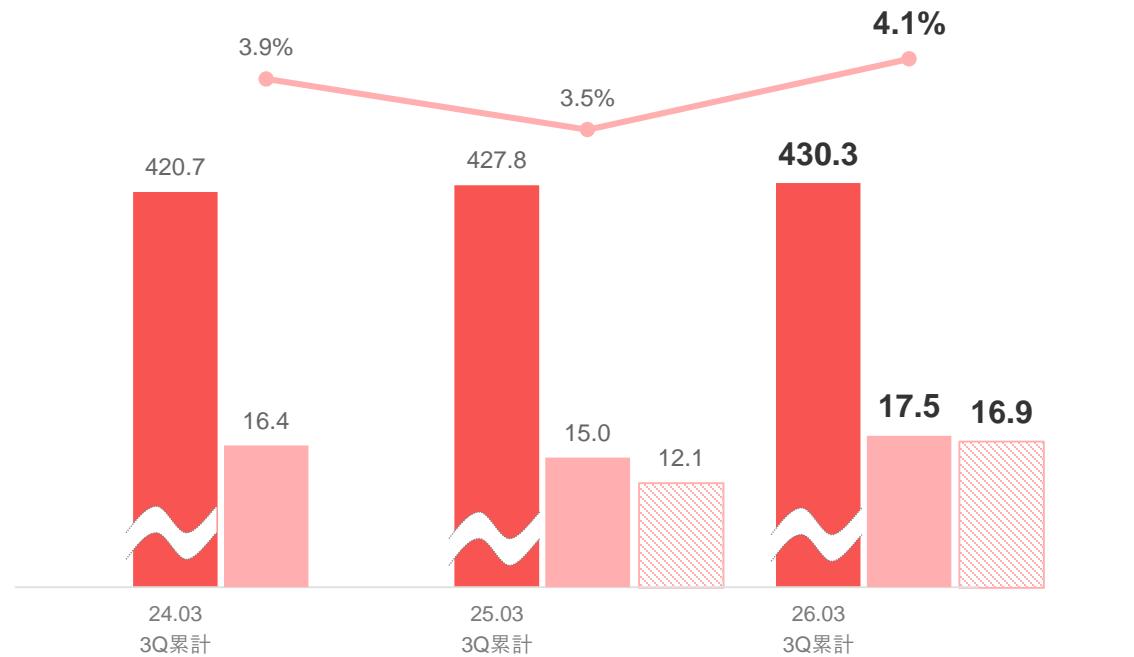


2026年3月期 第3四半期(累計) 海外Working事業

- 依然としてマーケット環境は楽観視できないものの、人材派遣売上、人材紹介売上ともに前年同期を上回り、売上収益は0.6%の増収。
- セグメント利益は、販管費の抑制と人材紹介売上増加による粗利の拡大を背景に、16.2%の増益。ノーマライズドセグメント利益では、39.2%の大幅増益。
- 前年同期と比較した為替影響は、売上収益 -10.1億円、セグメント利益 -0.2億円。

- 売上収益、セグメント利益 -

(単位：億円)	実績	前期	前期比
売上収益	430.3	427.8	+0.6%
セグメント利益	17.5	15.0	+16.2%
セグメント利益 (ノーマライズド) ^{*1}	16.9	12.1	+39.2%



- 為替感応度 -

	計画レート	3Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額/年 ^{*2}	
				売上収益	利益
AUD	91円	97円	101円	374百万円	13百万円
SGD	104円	115円	114円	163百万円	7百万円

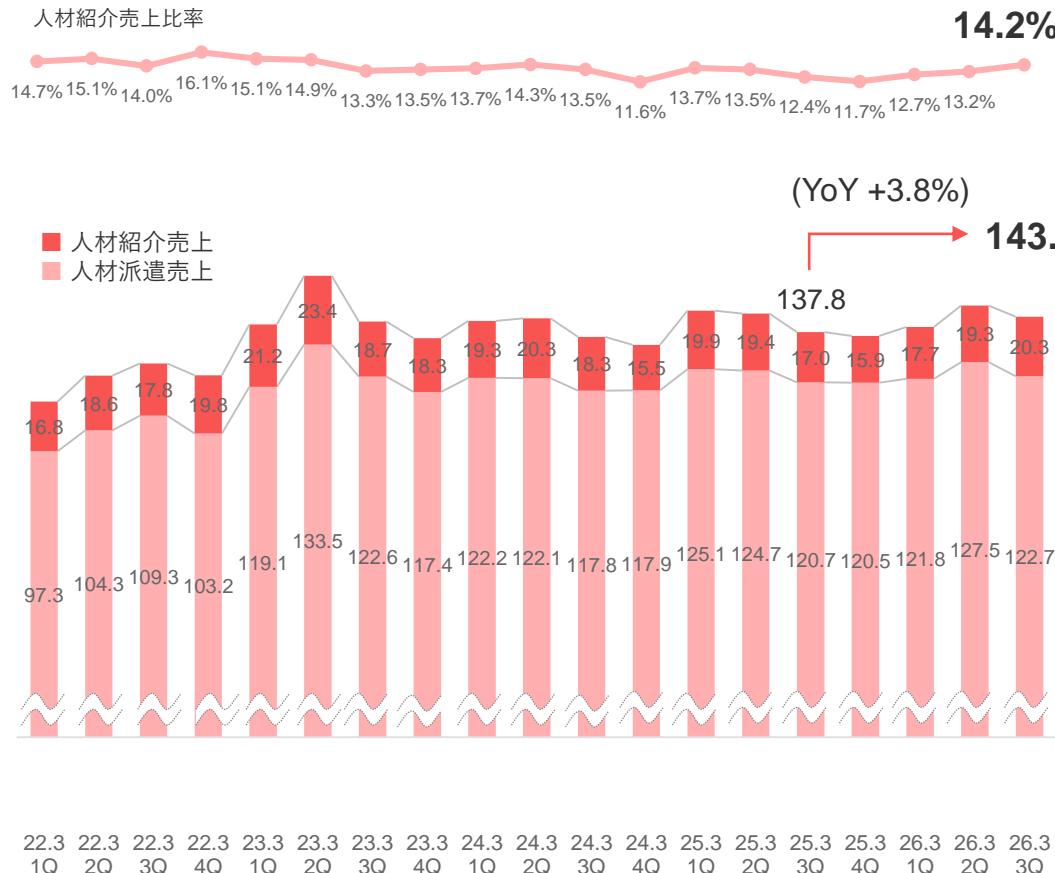
*1 前年同期に含まれる減損損失及び政府補助金収入を除いたセグメント利益。

*2 マクロ環境については、Appendix (81頁) もご参照下さい。

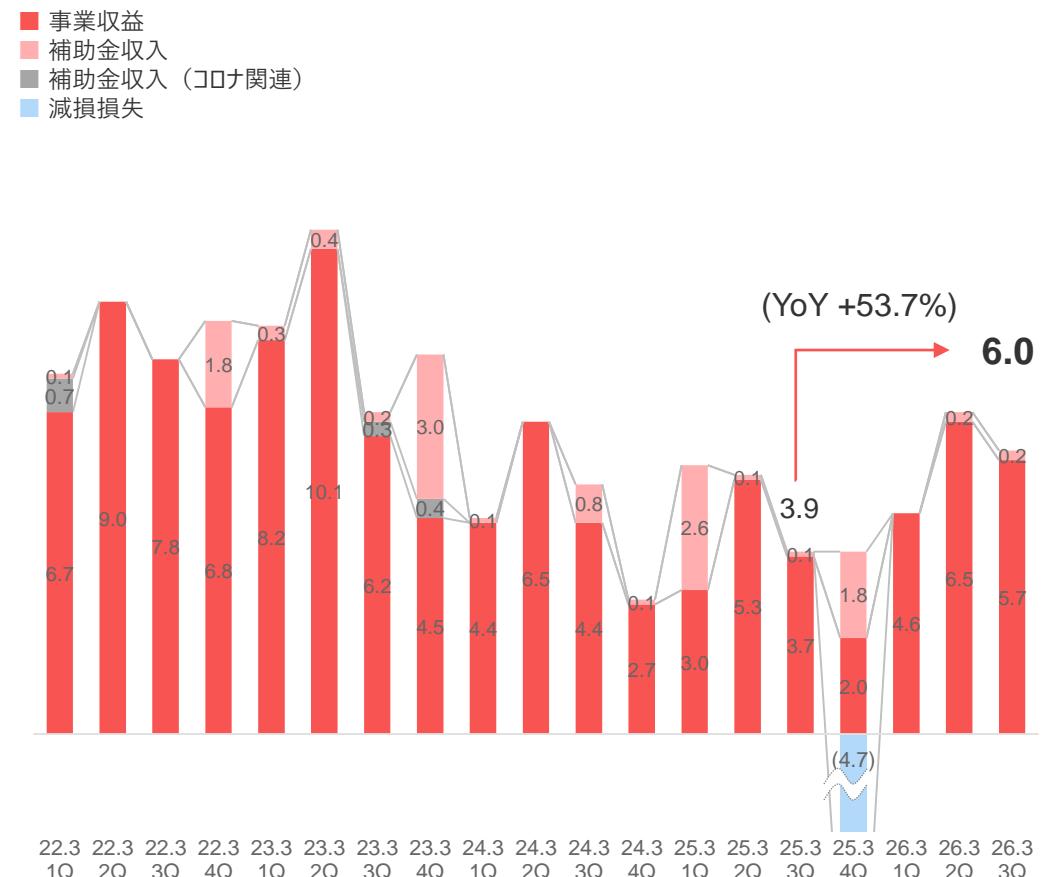
海外Working事業 (契約形態別売上、営業利益推移)

- 引き続き市場環境を注視しながら、競争力のある分野での人材投資を維持しつつ、コストコントロールを継続。
- 同時に、戦略的な施策を進めていくことで、今後の再成長に向けた収益モデルの確立を目指す。

- 契約形態別売上 (億円) -



- 営業利益 (億円) -



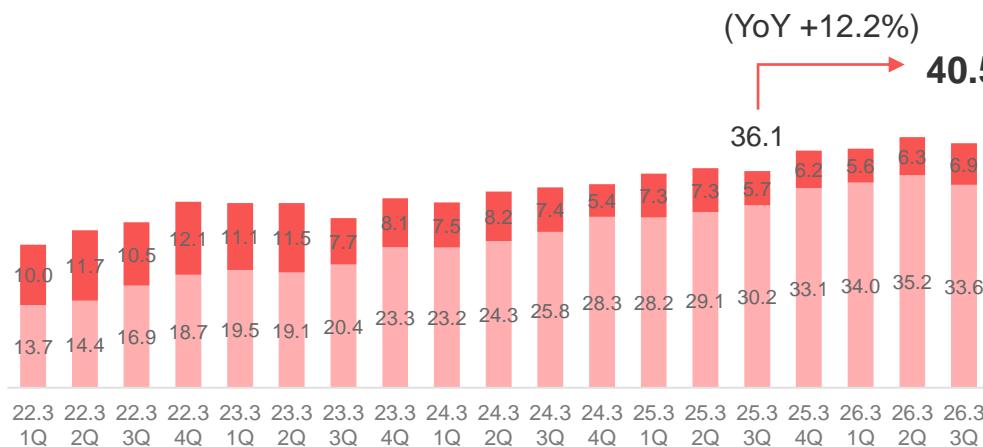
(参考) 海外Working事業 (現地通貨ベースの地域別売上内訳)

- ・ シンガポールの売上は、25.3期3Q比で人材派遣 +3.4百万シンガポールドル、人材紹介 +1.1百万シンガポールドル。
- ・ オーストラリアの売上は、25.3期3Q比で人材派遣 -5.3百万オーストラリアドル、人材紹介 +1.3百万オーストラリアドル。

- シンガポール -

■ 人材紹介売上
■ 人材派遣売上

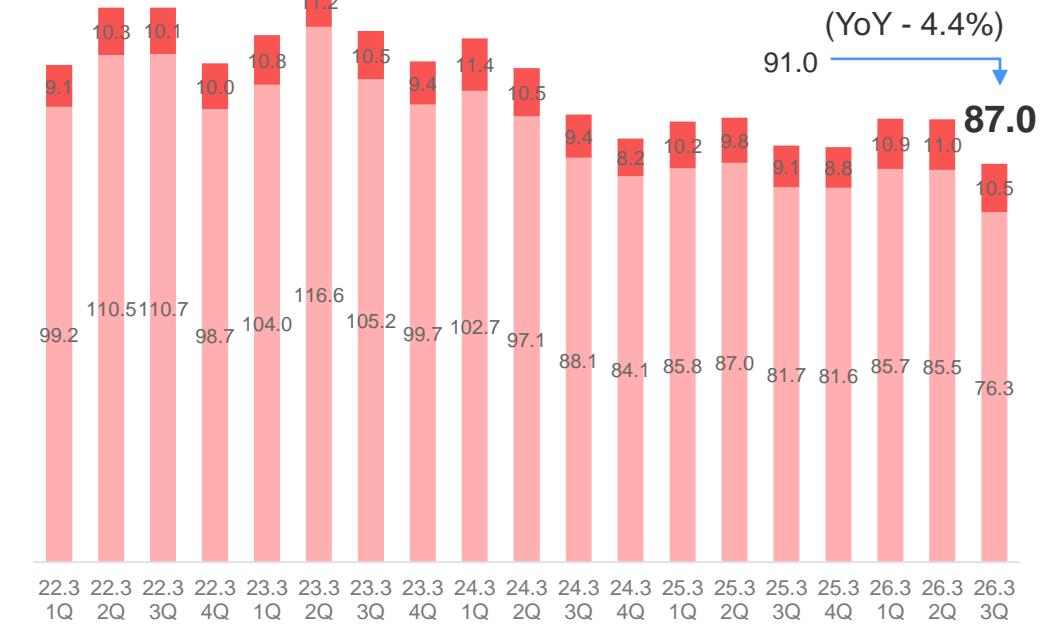
(単位：100万シンガポールドル)



- オーストラリア -

■ 人材紹介売上
■ 人材派遣売上

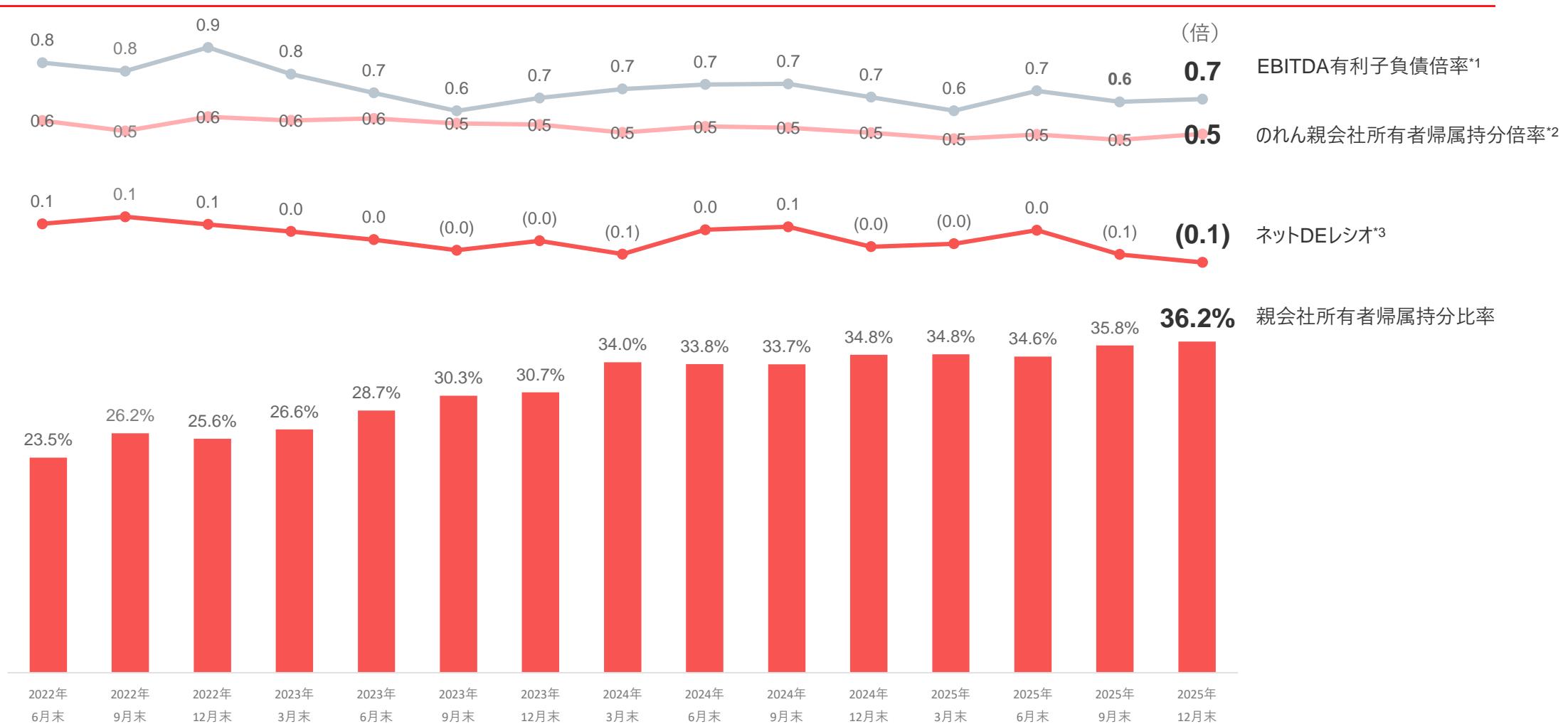
(単位：100万オーストラリアドル)



26.3期3Q実績レート：1SGD : 115円 1AUD : 97円

財務指標

- 親会社所有者帰属持分比率は36.2%と安定的に推移。その他財務指標も安全性に問題なし。



*1：有利子負債残高(短期借入金除く)÷EBITDA

*2：のれん残高÷親会社所有者帰属持分合計

*3：(有利子負債残高-現預金)÷親会社所有者帰属持分合計

2026年3月期 第3四半期 トピックス

2

ブランドプロモーションの実施

- 2023年7月より、「WILLOF（ウィルオブ）」のブランド認知度向上のため、タレントを起用したブランドプロモーションを継続実施。
- 25.3期は6月と10月に地上波テレビCM、YouTube等のインターネット広告配信を実施し、プロモーション実施前の23.3期と比較して、認知率、指名検索数、利用意向度ともに大幅に増加。

プロモーションによる期待効果

ブランド認知度向上



WILLOF検索件数UP



自社媒体からの採用数増加



プロモーション実績 (23.3期と25年10月のプロモーション実施後との比較 (増減率))

「WILLOFの認知率^{*1}

約195%UP

「WILLOF」指名検索数 (月)

約320%UP

「WILLOF」の利用意向度^{*2}

約320%UP

*1 放映地域20~59歳男女の助成想起率

*2 転職意向のある放送地域20~59歳男女

CM紹介サイト：https://wilof.jp/shigoto_update/

有償ストックオプションの発行

- 中長期的な業績拡大及び企業価値向上に対する結束力と貢献意欲をより一層高めることを目的とし、将来業績達成を行使条件とする自己投資型の有償ストック・オプションを発行。
- 29/3期～31/3期のいずれかにおいて、連結営業利益55億円を超過することを行使条件とする。

各 位



2025年11月7日

会社名 株式会社 ウィルグループ
代表者名 代表取締役社長 角 裕一
(コード番号: 6089 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 管理本部長 高山 智史
(TEL. 03-6859-8880)

募集型新株予約権（有償ストック・オプション）の発行に関するお知らせ

当社は、2025年11月7日開催の取締役会において、会社法第236条、第238条及び第240条の規定に基づき、当社及び当社子会社の取締役、ならびに執行役員に対し、下記のとおり新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）を発行することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本件は新株予約権を引き受ける者に対して公正価格にて有償で発行するものであり、特に有利な条件ではないことから、株主総会の承認を得ることなく実施いたします。また、本新株予約権は付与対象者に対する報酬としてではなく、各者の個別の投資判断に基づき引き受けが行われるものであります。

I. 発行の目的及び理由

本新株予約権は、当社の中長期的な業績拡大及び企業価値の増大を目指すにあたり、当社及び当社子会社の取締役、ならびに執行役員の意欲及び士気をより一層向上させ、当社の結束力をさらに高めることを目的として発行するものであります。

本新株予約権には、当社の2029年3月期から2031年3月期のいずれかの事業年度における連結営業利益が55億円を超過することを権利行使の条件としております。当該目標は、当社の過去最高益54.7億円（2022年3月期）を超える水準となります。

2025年11月7日適時開示資料「募集型新株予約権（有償ストック・オプション）の発行に関するお知らせ」



対象者	当社及び当社子会社の取締役、ならびに執行役員 計15名
発行数	4,465個 (446,500株相当)
発行規模	2025年10月末日時点の発行済株式総数に対して 1.93%
発行価格	2,400円 / 1個
権利行使価格	1,028円*1
権利行使条件	2029年3月期から2031年3月期のいずれかの事業 年度における連結営業利益が、 55億円を超過すること

POINT

過去最高益 54.7億円 (22/3期) を超える水準

*1 新株予約権の発行にかかる取締役会決議日の前取引日（2025年11月6日）の終値

株主優待制度の変更

- 2025年11月、当社株式への投資魅力をより一層高めることを目的として、株主優待制度の変更を発表。
- 新制度では、「ウィルグループ・プレミアム優待俱楽部」を通じ、金券・電子マネー・ポイント等と交換可能な株主優待ポイントを進呈。
- 2026年3月の権利確定において、保有株式数が300株未満の株主様には現行の株主優待制度を、300株以上の株主様には変更後の株主優待制度を適用。(2026年4月以降については、旧制度は廃止)

旧制度の内容

継続保有期間 ^{※1}	100株以上200株未満	200株以上	優待利回り ^{※2}	配当利回り ^{※2}
1年未満	クオ・カード 500円分	クオ・カード 1,000円分	0.4%	
2年未満	クオ・カード 1,000円分	クオ・カード 2,000円分	0.8%	
3年未満	クオ・カード 1,500円分	クオ・カード 3,000円分	1.3%	
3年以上	クオ・カード 2,000円分	クオ・カード 4,000円分	1.7%	

新制度の内容

保有株式数 ^{※3}	優待内容	優待利回り ^{※2}	配当利回り ^{※2}
300株以上500株未満	株主優待ポイント ^{※4} 5,000ポイント	1.4%	
500株以上	株主優待ポイント ^{※4} 10,000ポイント	1.7%	3.7%

3.7%

※1 継続保有期間は、基準日である毎年3月31日から起算し、3月31日現在の当社株主名簿に同一株主番号で連続して、2年未満は2回、3年未満は3回、3年以上は4回以上、記載または記録された株主様を対象といたします。

※2 優待利回り及び配当利回りは、2026年2月6日終値 1,193円で試算しています。

金券、電子マネー・ポイントの他、グルメ、スイーツ、飲食類、銘酒、家電製品、選べる体験ギフト等、3,000種類以上の優待品と交換が可能。

(交換いただける金券、電子マネー・ポイントの一例)

金券：クオ・カード

電子マネー・ポイント：

- ・ポイント@ギフト (PayPayマネーライト・dポイント・Vポイント)
- ・Amazonギフトカード 他

※3 継続保有期間の適用はありません。

※4 株主優待ポイント数 (1ポイント=1円)

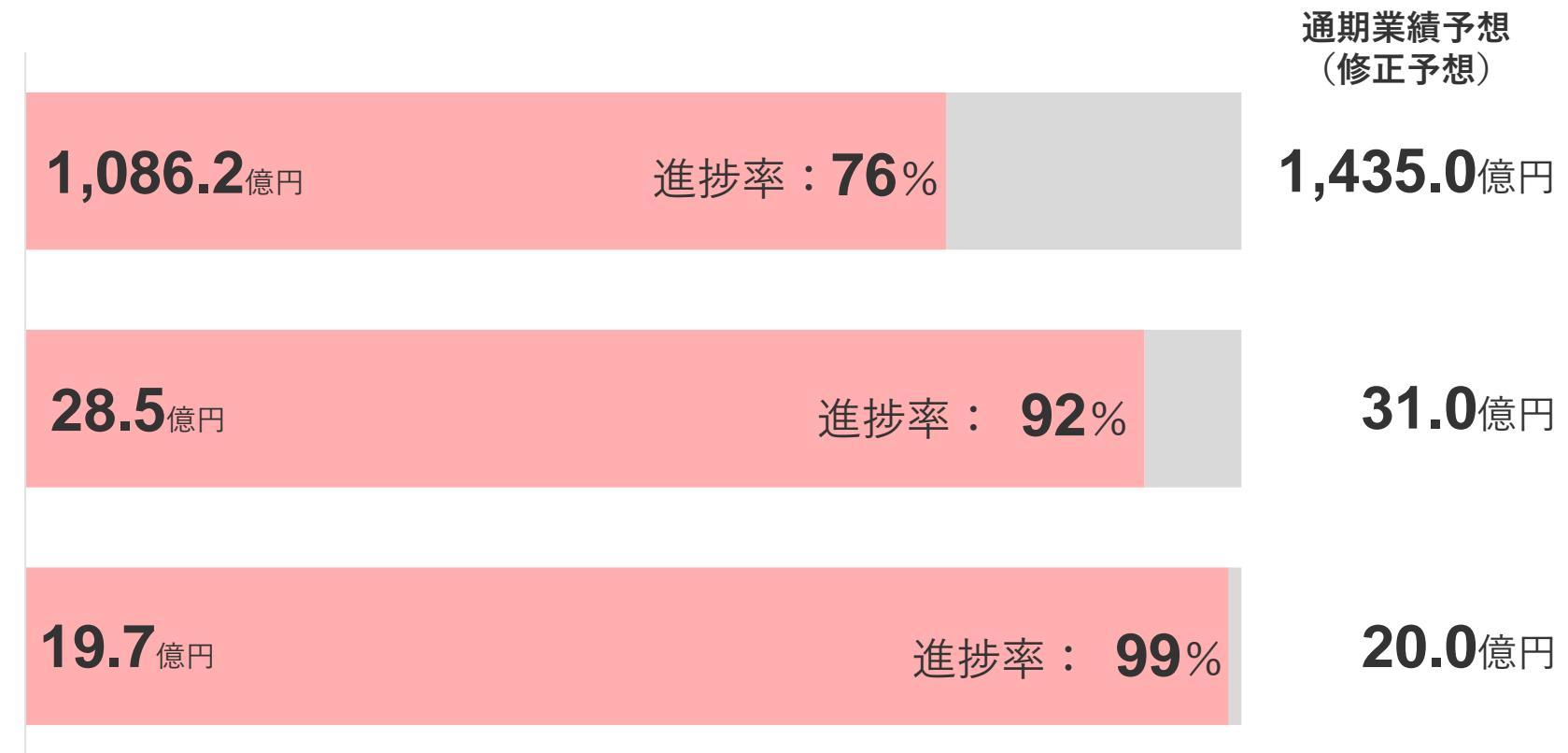
2026年3月期 通期業績予想、配当予想

3

2026年3月期業績見通し

- 3Q累計は、通期業績予想に対して非常に順調な進捗。
- 利益については、上振れ観測はあるものの、業績予想修正基準の範囲内 (利益額±30%) を想定しているため、通期業績予想は据え置く。

- 業績予想進捗率 -



2026年3月期 配当予想

- 2026年3月期の配当予想は、株主還元方針に基づき、前期実績(1株当たり44円)を据え置く。
- 総還元性向は50.8%の見通し。

現中計期間(24.3期-26.3期)中の 株主還元方針

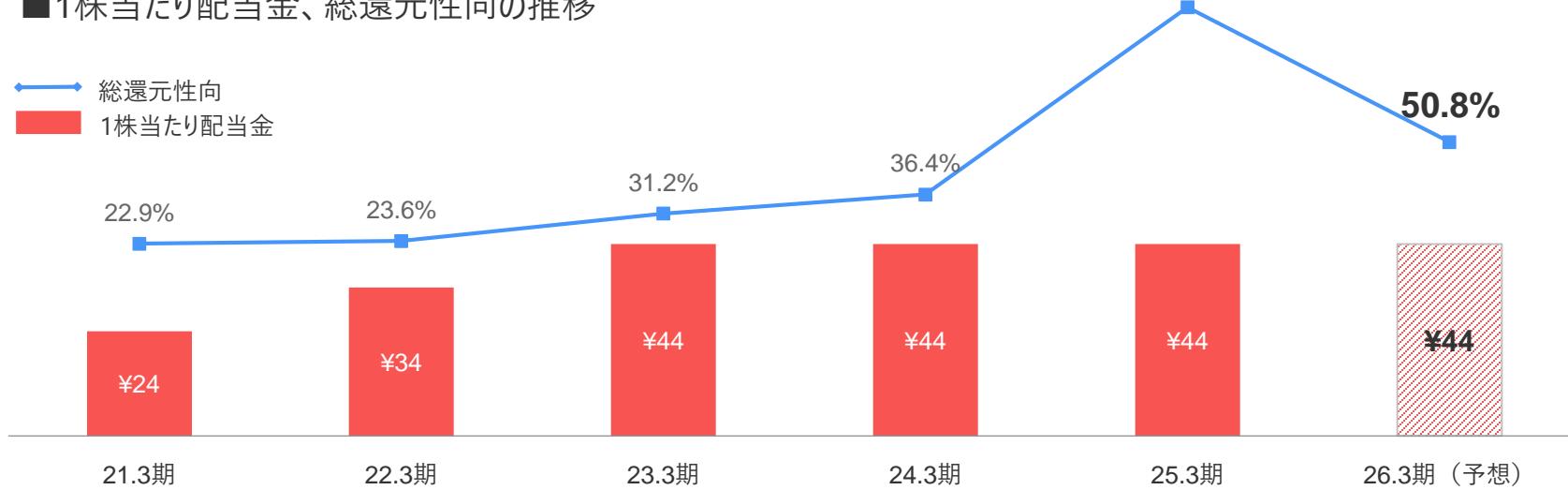
・累進配当

減配を原則実施せず、増配または維持

・総還元性向30%以上

期中の業績進捗に応じ機動的な自己株式取得を都度検討

■1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



WILL GROUP

■IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ カンパニーセクレタリー室IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

[IRメール配信登録▶](#)

